印第3次和 沼田市 環境基本計画

令和7(2025)年度 ▶▶▶ 令和16(2034)年度



令和7年9月





はじめに

沼田市は、赤城山や武尊山等、日本百名山に挙げられる 山々に囲まれ、豊かな森林や清流が守られている自然環境と ともに、市街地は、利根川とその支流である片品川・薄根川 により形成された日本有数の河岸段丘が広がる景観を有し、 貴重な自然環境と伝統文化に恵まれた美しいまちです。

市では、平成15 (2003) 年に「沼田市環境基本条例」を制定し、その基本理念の実現に向け、平成16 (2004) 年3月に、第1次に当たる「沼田市環境基本計画」を策定して以降、平成27 (2015) 年3月には、「第二次沼田市環境基本計画」の策定を行い、市の環境政策を実施してきました。



計画期間であったこの 10 年間には、平成 27 (2015) 年に SDGs (持続可能な開発目標) が 国際目標として掲げられたことをきっかけとして、地球温暖化や生物多様性における課題に 対して、世界共通の目標が設定される等、大きな社会情勢の変化がありました。これらの課 題は、決して他人事ではなく、今、私たちが住む身近な環境においても、その影響が現れて います。

このような状況の下、私たちが生きていく上で欠くことのできない自然からの恩恵を受け継ぎ、次の世代に引き継げるよう、これまでの計画の理念を継承し、「さわやかな空気、 澄んだ水、緑豊かな、自然にやさしいまち」を将来像に掲げ、自然と共生し、持続可能な社会を構築すべく、令和 16 (2034) 年を目標年次とした「第3次沼田市環境基本計画」を策定しました。さらに、市の健全な生態系を維持・回復させるための生物多様性に関する戦略として「ぬまた生物多様性地域戦略」を新たに策定し、その取組を推進してまいります。

今後は、市民・事業所・市の協働により、豊かな水と緑に囲まれた自然豊かなこの市がより良い生活環境を保ちながら人と自然が共生する社会を目指してまいりますので、本計画の実現に更なる皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、本計画の策定に当たりご尽力を賜りました沼田市環境審議会委員の皆さまをはじめ、アンケートや意見交換会で貴重なご意見・ご提言をいただきました市民、事業所の皆さまに心より感謝を申し上げます。

令和7年9月

沿田市長 星野 稔

目 次

| 第1章 計画の基本的事項 | 1 |
|---------------------|----|
| 1 計画策定の背景と目的 | 1 |
| 2 環境基本計画の位置づけ | |
| 3 計画の対象範囲 | |
| 4 計画期間 | 2 |
| 5 計画の基本的な考え方 | 2 |
| 第2章 現状分析 | 3 |
| 1 社会情勢 | |
| 2 市の環境の特徴と過去からの変化 | |
| 3 市の取組 | |
| 4 市民の意識 | |
| 5 市の環境から見えるもの | |
| | |
| 第3章 市が目指す将来像 | |
| 1 市が目指す将来像 | 26 |
| 第4章 施策の体系 | 28 |
| 1 基本方針と施策 | 28 |
| 2 本計画の体系 | |
| | |
| 第5章 施策の展開 | 31 |
| 第6章 ぬまた生物多様性地域戦略 | 52 |
| 1 本戦略の目的と位置づけ | |
| 2 生物多様性等に関する市の特徴と課題 | 53 |
| 3 本戦略の目指す姿と基本戦略 | |
| 4 重点地域の設定と目標 | |
| 第7章 推進体制と進行管理 | |
| | |
| 1 推進体制 | |
| 2 計画の進行管理 | 65 |
| ○用語の解説 | 68 |

専門用語等は、資料編の用語解説を参照してください。 なお、解説がある用語は、本文中最初に出てきた箇所に「※」を付与しています。

本計画書の策定に当たり実施したアンケート結果、基礎調査報告書等の参考資料については、 市ホームページに掲載しています。 https://www.city.numata.gunma.jp/shisei/keikaku/lo16056.html



第3次沼田市環境基本計画

発行 令和7(2025)年9月

T378-8501

群馬県沼田市下之町888番地

TEL 0278-23-2111 (代表)

ホームページ https://www.city.numata.gunma.jp